

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 市民-14 海水浴場運営事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	観光商工課	関連課					
分野名	観光						
目標 (目標値)	海水浴場を3海岸で開設するために、安全確保のための諸設備の整備、監視業務等の委託を行い、安全で快適な海水浴を楽しむことができるようにする。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	1,028,800人	1,136,500人	904,700人			
決算値(千円)	41,332	43,386	45,487				
運営資源状況	(国・県)						
	(負担金等)	12,000					
	(一般財源)	29,332	43,386	45,487			
	人員配置数	0.8人	0.8人	0.8人			
	人件費(千円)	6,535	6,580	7,300			
	協働のパートナー	海水浴場連絡会	海水浴場連絡会	海水浴場連絡会			
	事務事業 運営経費	総事業費(千円)	47,867	49,966	52,787		
	市民1人当りの経費(円)	269	282	298			
	対象者1人当りの経費(円)	47	44	58			
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名→	藤沢	逗子	葉山	三浦	鎌倉	
	海水浴客	2,981,702	417,000	96,624	149,749	1,028,800	
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
海水浴客数	◎	目標値	95.8万人	95.8万人	95.8万人	95.8万人	95.8万人
		実績値	95.5万人	90.5万人	113.7万人	102.9万人	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
海水浴場運営事業	41,332	海水浴場運営事業	48,954	今後の方向性	A	理由・手法	海水浴場のマナー向上に関する条例を定め、巡回警備、啓発看板の設置等の方法により、これを周知し、安全で快適な海水浴場を実現する。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	海の家の営業形態の多様化や、生活・文化に対する意識の変化に伴い、海の家のクラブ化、入れ墨を露出した若者や酒酔い客による風紀・マナーの悪化が著しく、誰もが安心して快適に利用できる海水浴場とは言えない状況となり、海水浴場の健全化が求められた。										
課題解決のための取組	県関係部署、鎌倉警察署、関係団体、沿岸の自治町内会、海浜組合、市関係部署で組織する「(仮称)安全で快適な鎌倉市海水浴場に関する条例検討部会」において、海水浴場の健全化に向けた議論を行い、海の家の新たな営業ルールの策定、進行管理と海水浴客のマナー向上に関する条例の策定を平成26年度の対応方針として決定した。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	海の家の営業時間等を含めた海岸利用については、県内の各海水浴場において運用が統一的ではない。昨今の海水浴場の風紀の悪化に伴う健全化に向けた対応についても、各海水浴場ごとに差異が生じている。そのため、神奈川県が主導する海岸利用に関するあり方検討会の場において、県内の各海水浴場の健全なあり方についての提言が望まれる。										
中事業の評価	適切○要改善△(2面「評価の視点」を参照)			①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	海水浴客のマナー向上に関する条例の効果をも高めるため、マナーアップ推進員(警備員)による巡回業務を新規に予算化。マナーに反する迷惑行為を防止するため、海水浴客への呼びかけを行い、海水浴客のマナーアップを通じ、海水浴場の健全化を図る。 また、海の家の新たな営業ルールについては、沿岸の自治町内会を招いたイベントの事前審査会を実施し、風紀悪化の原因となるクラブイベント等の開催防止を図る。また、営業音についても国道134号線沿道において80db以下の基準値を設定し、また夜8時30分以降は「波音タイム」として、BGMを流さず波の音が楽しめるよう、周辺環境への騒音対策を行う。					A		※事業完了			

評価者名 観光商工課担当課長 齋藤和徳

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
海水浴場 運営事業	海水浴場開設に必要な設備の整備、整地・監視業務等による安全確保、海水浴場のマナー向上のための取組を行う				○	○	○	○	
	主な 個別 事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		397	消耗品費	145	144	○	○	○	○
		397	光熱水費	12	13	○	○	○	○
		397	電信料	99	96	○	○	○	○
		397	海水浴場監視業務等委託料	25,612	25,612	○	○	○	○
		397	なぎさ整地事業委託料	4,935	4,326	○	○	○	○
		397	放送設備及び放送塔設置委託料	1,784	1,731	○	○	○	○
		397	コースロープ設置委託料	1,389	1,389	○	○	○	○
		397	仮設木橋設置委託料	1,500	1,499	○	○	○	○
397	防犯灯及び監視所電灯配線設置等委託料	1,706	1,612	○	○	○	○		
397	監視所・仮設トイレ等賃借料	4,565	4,564	○	○	○	○		
※□ 事業完了	397	海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金	471	346	○	○	○	○	
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な 個別 事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な 個別 事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な 個別 事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	※□ 事業完了								